

木津川市教育委員会会議録

平成29年第3回木津川市教育委員会定例会

- 日 時：平成29年3月29日（水） 午前9時30分から午前11時25分まで
- 場 所：木津川市役所 4階 4-1会議室
- 出席者：森永重治教育長、有賀やよい委員、小松信夫委員、高橋史代委員、佐脇貞憲委員
（事務局）森本教育部長、加藤理事、濱野理事、竹本教育次長兼学校教育課長、
石井担当課長、高味社会教育課長、福井文化財保護課長

1. 開 会 教育長 教育長あいさつ

2. 前回会議録の承認

教育長が、平成29年第2回定例会議の会議録の承認について提案された。

委員より会議録6ページ質疑応答中5行目の表現を修正することとして承認された。

（「土日では必ず1日しか仕事をしないようにしなければ」を「土日とも続けて出勤すると」に修正）

3. 新設学校給食センターに係る動向について

平成29年第1回木津川市議会定例会での、新設学校給食センターに係る動きについて、教育長が説明を求めた。

事務局が説明を行った。

〔説明〕

当市議会定例会に上程された、平成29年度木津川市一般会計当初予算において、（仮称）新設学校給食センター新築工事設計費を、平成29年度から30年度にかけて債務負担行為設定をおこなった。

山城給食センターを守る会から、1に山城学校給食センターの存続を求めること、2に、山城学校給食センターの施設・厨房機器の改善を求める内容の請願が、4,868人の署名とともに提出された。3月2日の総務文教常任委員会では、請願者の意見陳述、その後に委員との質疑応答があり、議会開会中の継続審議となった。委員会より行政からの説明を求める要請があったため、3月17日の総務文教常任委員会に教育長、部長、理事、次長が出席して説明を行った。

請願者が心配されている、食育の推進、地産地消の継続と新たな体制の構築、アレルギー対応等について説明を行った。さらに最重点項目と考える衛生管理基準に基づいた安心安全な施設設備への対応については、3学校給食センターの施設図面を用いて、現状の課題点等を説明

した。

その後採決が取られ、総務文教常任委員会で請願は不採択となり、本会議においても反対者多数で不採択となった。

4. 議事

《議案第3号 木津川市社会教育委員の委嘱について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

木津川市社会教育委員を委嘱するため、教育委員会の議決を求めるもの。

(任期は、平成29年4月1日から平成31年3月31日まで)

平成28年度から平成29年度は13名に委嘱していた。条例の規定では15名以内と定められており、今年度に委嘱する委員数は14名である。

【質疑応答】

委 員：公募委員は何名か。

事 務 局：2月1日から17日まで公募し、4名の応募があった。面接と論文で選考を行い、2名を選考している。

【採決】

教育長が、採決を行い、全員一致で可決された。

《議案第9号 木津川市スポーツ推進委員の委嘱について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

スポーツの振興のため、市民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うため、木津川市スポーツ推進委員を委嘱するもの。

(任期は、平成29年4月1日から平成31年3月31日まで)

規則の規定による定員は40名以内と定められており、平成28年度から平成29年度は26名に委嘱していた。今年度に委嘱する委員数は23名である。

【質疑応答】

教 育 長：定数40名以内で23名の委嘱であるが、定数に近づけることは出来ないのか。

事 務 局：現在のスポーツ推進委員からも定数について疑義があり、府内の状況を調査

したところ概ね20名から30名程度であった。今後、2年間で定員を含めた検討を行う。

教 育 長：委員の要件は、市内在住・在勤に限られていないのか。

事 務 局：お見込みのとおり。

委 員：障害者スポーツの基盤を拡げるために委員に1名でも障害者スポーツをされている方を加えていただきたい。

事 務 局：歴史めぐりマラソンにもガイドと共に盲目の方にも参加いただいているので、必要性を認識している。今後検討していく。

委 員：支援学校には指導者がおられる。また、支援学校の卒業生で野球や水泳などを続けている方がおられるので検討願う。

【採決】

教育長が、採決を行い、全員一致で可決された。

《議案第10号 木津川市文化財保護審議会審議員の委嘱について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

木津川市文化財保護審議会条例に定める木津川市文化財保護審議会審議員の任期が平成29年3月31日で満了することに伴い、文化財保護審議員を委嘱するもの。

(任期は、平成29年4月1日から平成31年3月31日まで)

委員の構成については、学識経験を有する専門員4名と地元住民代表者6名の合計10名である。

文化財保存活用計画策定・答申に係わっていただいたことから、今後の文化財の保存・指定が円滑に行えるように引き続きご指導いただくため、全ての審議員を再任するもの。

【質疑応答】

委員からの質疑は無かった。

【採決】

教育長が、採決を行い、全員一致で承認された。

傍聴の申請があり、木津川市教育委員会会議規則第12条及び木津川市教育委員会傍聴規則第2条の規定に基づき、許可する。

〈傍聴者入室〉

《議案第11号 木津川市体育施設条例施行規則の一部改正について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

木津川市立加茂プールの老朽化により、当該施設を廃止することとし、3月24日に木津川市議会定例会において可決された木津川市体育施設条例の一部改正を受けて所要の改正を行うもの。

併せて、申請様式中の提出先宛名について「様」から「宛て」に改めるものである。

【質疑応答】

委員からの質疑はなかった。

【採決】

教育長が、採決を行い、全員一致で承認された。

5. 教育長報告（平成29年2月21日～平成29年3月29日）

(1) 教育長が、事業報告に基づき報告を行った。

中でも次の点について、詳細の説明があった。

- ・ 2月23日に市議会定例会が開会した。
- ・ 26日に市文化協会発表会及び市体育協会10周年記念式典が開催された。
- ・ 27日と28日は、市議会会派代表質問であった。次回教育委員会で報告させていただく。
- ・ 3月2日に総務文教委員会があり、学校給食センターに係わりその後に臨時の総務文教委員会が開催された。
- ・ 9日は、市議会一般質問であった。
- ・ 12日は、市制10周年記念式典が開催され、サンタモニカ市との友好都市盟約締結が行われた。
- ・ 14日は中学校の卒業式、16日は幼稚園の卒園式、17日は小学校の卒業式がそれぞれ挙行された。
- ・ 17日は、山城給食センター存続についての請願に係わって臨時の総務文教委員会が開催された。
- ・ 24日に市議会定例会が閉会した。
- ・ 26日は、4月に開園する木津川台の認定こども園の竣工式が開催された。
- ・ 27日は、小学校15名、中学校5名の新規採用教職員の受入を行った。

6. その他

(1) 今後の行事予定について

事務局が、今後の行事予定について説明を行った。

(2) 要望書について

事務局が、木津川市いきいき子育てネットワークより提出のあった小中学校のすべての教室への一刻も早いエアコン設置を求める要望書に対する回答（案）について報告した。

要望内容 未来の木津川市をになう子どもたちが、熱中症の心配もなく 学習しやすい環境の中で勉強ができるよう 一刻も早くエアコンの設置を具体化し、進めてください。

回 答 市立幼稚園、小中学校の普通教室等に一齐に空調機を導入する手法を検討するため、平成29年2月23日開会の平成29年第1回木津川市議会定例会に予算を計上しております。

【質疑応答】

委 員：整備完了見込みはいつ頃か。

教 育 長：平成31年度の夏を目途としている。PFI方式を用いて、民間の専門的知識や資本力を活用して一齐に空調機を整備出来るよう計画しており、市の財政部局や建設部局とも連携を取りながら事業を進めて参る。

(3) 学校教育の重点について

事務局が、資料に基づき平成29年度学校教育の重点について報告した。

主に昨年度との相違点について重点目標毎に説明を行った。また、平成29年度重点取り組み事項について説明を行った。

【質疑応答】

教 育 長：イングリッシュカフェやお茶教室の参加者からは、どのような感想があったのか。

事 務 局：参加した子ども達のアンケートでは、お茶教室では、これまで急須を使ってお茶を入れたことが無かったことやお茶は苦いものだと思っていたが、ぬるいお湯でゆっくり入れると甘いものであることが分かった等の感想や、自分達の地域で作られているお茶に親しむことの大切さが分かった等の子ども達の素直な意見が出てきていた。今後も継続した取り組みを行っていく。

教 育 長：何校で実施したのか。

事 務 局：7校で実施した。平成29年度は、各学校から要望を聞き、予算の中で出来るだけ希望に沿うように実施していく。

イングリッシュカフェについても、AETやALTの協力のもとに英語

に親しむことやふれ合うことに重点を置き、ゲームや歌等を中心に実施した。

子ども達からは、楽しかった、また参加したいや英語の単語を1つでも多く覚えたい等の意見があった。小学校5校で実施していたが、平成29年度は小学校全校に拡大していく。

委員：教育と教育環境においてユニバーサルデザインの視点に立つとあるがどのような取組か。

事務局：例えば、黒板を見た際に、黒板のまわりに掲示物があるとそちらに注意が行くので、余計な掲示物を貼らないことや教材の提示の方法を誰にでも分かりやすく提示する等である。

(4) 社会教育の重点について

事務局が、資料に基づき平成29年度社会教育の重点について報告した。

重点課題等は、昨年度から変更点はなかった。

(5) 木津川市子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）（案）に係るパブリックコメントの実施結果について

事務局が資料に基づき説明した。

【説明】

本件については、第11回定例会議案第31号で議決を得た後、1月6日に市政政策会議に諮った。その後2月1日から3月2日までの1ヶ月間パブリックコメントを実施し、市民の方からのご意見を受付けた。

その結果1名の方から8項目の意見や質問を頂戴した。

意見等を精査し、3月14日の政策会議において意見に対する回答について決定を受けたので報告させていただく。

パブリックコメントを募集するにあたり、概要版と本編を掲載させていただいた上で意見を求めたものであるが、提出された意見や質問は概要版から引用されており、本編に記載されているものについては、その旨を踏まえて市の考えとしてお示しさせていただいた。この報告の後に、市ホームページにおいて回答させていただく。

【質疑応答】

委員：学校図書館の充足率はどれ位か。

事務局：60%から70%である。学校によっては100パーセントを超えている。

事務局：生徒数が一時多く、その後減少してきている学校は蔵書数が多く充足率は高いが、古い図書が多くても使用できないので新しい図書に更新をしている。また、充足率の低い学校へは重点的に予算を配分している。

(6) 平成29年度幼稚園：入園式、小・中学校：入学式 教育委員会等出席者について事務局が、資料に基づき各校（園）の出席者を報告した。

(7) 学力について

事務局が資料に基づき、小学校4年生及び中学校2年生の府学力診断テスト等の結果について報告した。また、昨年度より実施している市小学校統一学力診断テストの結果について報告した。

〔説明〕

府学力診断テストの結果は、小学校の算数及び国語、中学校の数学、国語及び英語の全てで府の平均正答率を上回っている。

また、昨年度より実施している市小学校統一学力診断テストは、昨年度の結果を受けて、各学校で強み、弱みを分析して次の学年の授業に活かし、成果として今年度は全ての学年で全国平均を上回っている。

【質疑応答】

委員：市小学校統一学力診断テストの実施時期は。

事務局：12月初旬である。

委員：点数に重きを置くと、一時的にテストの点数を上げる努力をすることになる。テストの結果を基礎学力の定着、向上に結び付けるような取組みが進められることを期待する。

(8) 最近の主な新聞記事について、教育長が説明を行った。

(9) 次回教育委員会日程について

次回委員会は、平成29年4月26日（水）午前10時から開催することを確認した。

教育長が、会議を閉会した。